

<b>事業所名</b>	グループホームじーちゃんばーちゃんのお家 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成20年 2月28日
<b>評価機関名</b>	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 社会福祉法人生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援 専門員、難病患者等ホームヘルパー  B:現職 理学療法士、ガイドヘルパー講師 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述) ・JR津山駅より、徒歩10分程度の所にホームはある。幹線道路に近く、背後には自然溢れる山々を控えている。広い敷地の中には菜園があり、明るい外観の平野の建物は周囲の住宅地に溶け込んでいる。  ・自然を身近に感じられる環境の中、東北の気温を考慮して2重の窓ガラスを設置している。全館バリアフリーであり、手すりを脱衣場・浴槽にも設置し、安全と自力歩行を支援している。  ・津山市内の脳外科専門の医療機関と提携しており、緊急時には直ちに対応してもらえる。また、入院にも応じてもらえ、家族・入居者は安心してホーム生活を送ることができ、認知症軽減・重度化防止についても、適宜適切な相談・助言が期待できる。  ・入居者は、毎日自由に菜園で畑仕事をしたり、周辺を散歩して自然に触れることができる。職員の丁寧な言葉使いと穏やかな笑顔は、入居者の心の安定となって心地よくホーム生活を送れる。  ・2ユニット夫々に特長があることで相乗効果が生まれており、五感に刺激をたっぷりと受けることのできる生活環境である。  ・入居者及び家族の負担を考慮して家賃・経費を安価に設定しており、最後まで安心してホームで生活してもらえらる。
<b>特に改善の余地があると思われる点(記述)</b> 要改善として特段に指摘すべき点は無い。 ・運営推進会議を通じ、近隣・地域との交流は進んでいる。今後は、地元住民・地域関係機関に防災訓練・避難訓練等への参加を要請する等連携を強固にし、地域と一体となってホームの啓発を進め、地域での存在認識が高まって行く事を期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>  ・豊かな自然に心癒される、そんな快適生活空間を共同生活の中で創造することを目指している。  ・「あきらめ」を「希望」に変えられるよう、毎日の生活を楽しみながら個人個人に合った自由な生活を送れることを目指している。  ・陽の光を浴びながら土に触れたり、花を育てたり野菜作りを楽しむことができる環境がホームにはあり、入居者にはゆったりとして自然に即した生活を送ってもらえるように努めている。  ・ホームを第2の故郷として思ってもらえるように努力し、家庭的で家族が安心して任せられる介護を目指している。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>  ・共用空間では、ソファを囲むように配置し、入居者同士顔が向き合え話し合えるようにしてある。また、自由にくつろげるように、フロアでの居場所を確保できるよう工夫している。  ・入居者同士が誘い合い、仲間意識を持って行動し、孤立感を感じないように配慮している。  ・リハビリ体操により身体機能の維持を図って転倒防止に努め、作業・行事等に参加することで適度な気分転換を図り、心身ともに活性化し安定するように取り組んでいる。  ・職員は、感謝の気持ちで入居者に接し、尊敬する言葉使いで入居者との信頼関係を築き、安心して共同生活が営めるように努力している。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>  ・個々の入居者の経験・能力を理解し、その意向を尊重して自主的に作業・調理・掃除などに取り組みられるように支援している。職員は入居者を人生の先輩とし、尊敬の念を払っている。  ・個人に関する記録で不要な物は、すべてシュレッダーに掛けて廃棄している。個人情報の散逸を防ぎ、ボランティアにも守秘義務を厳守してもらい、入居者のプライバシーを保護している。  ・入居者個人の電話での問い合わせは断り、面会簿は個人ごとに分けている。玄関に個人情報の取り扱いに関して掲示し、個人情報保護を徹底するよう取り組んでいる。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>  ・採用後、2ヶ月以内に初任者研修を実施している。レベルアップ研修や内部でも介護技術の勉強会を行って介護資質の向上を図っており、職員の資格取得も応援している。 ・家族アンケートを通じて家族をホームに託し利用する人々の真の気持ちや悩み上げ、ホーム運営に生かしている。また、利用する人が期待することよりも一歩先に進んだサービスの提供に努力している。 ・職員は、入居者の状況を常に把握するように努めており、日中から夜間への申し送りは、気になる入居者の様子を詳細に伝えてコマ目に巡視を行い、入居者の安全・安心な生活の確保に努めている。 ・事務室には、緊急時の町内連絡網を掲示している。ヒヤリハットを含め小さな事故も記録して検討し、再発防止に努力している。 ・防火訓練・避難訓練を年2~3回行っている。非常時・緊急時の安全対策には全員で取り組み、入居者の安全・安心を守るように努力している。		